

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 159

事務事業名	医療費適正化事業
-------	----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	国保けんこう課		
課長名	松永 龍二	内線	115
担当者名	大久保 一平	内線	119

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020402	暮らしのセーフティネットの充実
施策		社会保障制度の安定的運営
関連施策		

会計	国民健康保険事業特別会計	
款	1	総務費
項	4	医療費適正化事業費
目	1	医療費適正化事業費
事業コード	020000	医療費適正化事業

事業類型	1	ソフト事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか 国民健康保険医療費		
意図	対象をどのような状態にしたいか 医療費の伸びの適正化を図り、国民健康保険事業の安定的な運営に努める。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か レセプト点検体制の強化充実(資格点検、内容点検、第三者行為求償)、医療費通知の実施、多受診・重複受診者に対する訪問指導等を行い、医療費の適正化を図る。		
事業期間	昭和 34 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営、補助
根拠法令、要綱等	国民健康保険法第68条の2		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① レセプト点検総数	計画値	350,000	360,000	360,000	360,000	
		実績値	367,712	341,386	343,019		
		達成度	%	105.1%	94.8%	95.3%	
活動指標	② 多受診・重複受診者訪問相談件数	計画値	60	60	60	65	
		実績値	62	64	80		
		達成度	%	103.3%	106.7%	133.3%	
成果指標	① レセプト点検による被保険者一人当たりの財政効果額	計画値	2,500	2,500	2,500	2,500	
		実績値	2,110	2,365	2,253		
	調整決定額/被保険者数	達成度	%	84.4%	94.6%	90.1%	
		計画値	%	40.0	40.0	40.0	50.0
	② 多受診・重複受診者のうち訪問指導による効果	実績値	%	31.6	13.6	54.0	
		達成度	%	79.0%	34.0%	135.0%	
	受診減件数/全件数						

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	13,265	13,911	13,707	14,826	15,171	15,171	15,171	0
国庫支出金	114	226	72	157	147	147	147	
県支出金	8,758	9,347	8,808	8,120	8,394	8,394	8,394	
地方債								
その他	28	29	29	32	26	26	26	
一般財源	4,365	4,309	4,798	6,517	6,604	6,604	6,604	
② 人件費(千円)	8,532	8,059	7,109	7,392	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	1.05	1.05	1.00	1.00	レセプト点検、医療費通知等	レセプト点検、医療費通知等	レセプト点検、医療費通知等	
時間外勤務(時間)	94	62	28	60				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	21,797	21,970	20,816	22,218				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成21年度から保険者レセプト管理システムが開始されたため、内部研修を行うなど、点検員の資質向上及び事務効率化を図った。また、ジェネリック医薬品の使用促進のため、新規加入者と希望者に対しジェネリック医薬品希望カードを配布した。
事業が抱える問題・課題等	被保険者は減少しているものの、高齢化の進展や医療の高度化等により、医療費は増加傾向にある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

レセプト点検を適正に行うことにより、過誤調整を含む効率的な適正化事業の実施に努める。21年度から保険者レセプト管理システムが導入され、画面での点検を行い点検事務の効率化につながる。

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	本事業は毎年成果を上げているため、現状維持とする。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	医療費の総量抑制が期待される。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。